

踏み出そう新たなステージへみんなの力が新渡戸の未来



新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

8月号

令和3年8月1日号

東京医療

住所 東京都中野区中央四丁目59番16号

TEL 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail syougai@nakanosogo.or.jp

第386号

発行人/理事長 入江 徹也

発行責任者/渉外・広報課長 仲田 智

腎臓内科常勤医師8人体制で全ての腎疾患に対応し スムーズな地域連携に努めています

腎臓内科 部長 野田 裕美

腎臓内科のご紹介をいたします。腎臓内科常勤医師は8名で専門医・指導医も右下の囲みのように充実しています。私、野田は東京医科歯科大学腎臓内科学分野慢性腎臓病病態治療学講座准教授として臨床、研究、教育に尽力してまいりました後に当院腎臓内科部長に就任しております。また2011年から日本腎臓学会評議員を継続しており、2018年には国際腎臓学会のスーパーバイザーも務めております。佐藤 恵子医師は横浜市立大学腎臓内科で臨床の中核として活躍された後当院に着任し、昨年中野クリニック所長に就任しております。佐藤 英彦医師は東京医科歯科大学腎臓内科学助教として大学の臨床の中核として活躍された後当院腎臓内科医長に就任しております。野田と佐藤 英彦医師は現在も東京医科歯科大学臨床教授を継続しております。その他の腎臓内科医師もみな優秀で、さらに優しい人柄です。充実したマンパワーで全ての腎疾患に対応し、正確な診断と個々の患者さんに合わせた適切な医療の提供に努めています。長年にわたり日本腎臓学会認定教育施設および日本透析医学会認定施設として専門医育成にも力を入れており腎疾患・透析治療に関して高い評価を受けております。

当科には3つの特徴があります。1つ目は、蛋白尿・血尿、腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症などの腎疾患、急性腎障害、慢性腎臓病において正確な診断を行った上で最新の適切な治療を行い腎不全の阻止を目指しています。腎生検や遺伝子検査も積極的に行っています。なお腎疾患治療では地域医療連携が特に重要です。このためほとんどの患者さんでは当科での治療と並行して、元々通院されていたクリニック等での通院も継続していただいています。これにより患者さんの利便性向上にもつながっていると考えられます。

2つ目の特徴は、通院透析施設を併設しているため、透析導入から通院維持透析、合併症による入院治療など、1人の患者

さんに対して継続して病態を把握し治療を進めることができるという特徴があります。

3つ目としては、通常の透析以外にも、重症患者さんの救命においては血漿交換、血漿吸着、血液吸着、持続的腎代替療法などの多様な血液浄化療法を積極的に行っているということがあります。

今や成人の8人に1人は慢性腎臓病患者となっています。腎臓病が進行して腎機能が廃絶すると、透析や腎移植が必要になります。腎機能が廃絶しなくても、機能が低下するだけで心筋梗塞や脳卒中なども発症しやすくなります。腎臓病は近年様々な治療法が確立されています。健診などで腎機能や尿所見異常を指摘されたときには腎臓内科受診をお勧めします。

当院では月曜日から土曜日まで毎日腎臓内科医師が外来に出ております。地域医療機関様におかれましては腎疾患が疑われる患者様がいらっしゃいましたら引き続きぜひご紹介くださいようお願い致します。予約なしの当日紹介受診も歓迎です。CKD医療連携ノートを用いて併診とし情報共有させていただいております。

スムーズな地域連携と迅速な対応を腎臓内科8人が一丸となって努めています。引き続きよろしくお願い致します。

野田 裕美 腎臓内科部長、医学博士、東京医科歯科大学臨床教授、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本透析医学会透析専門医・指導医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医・評議員

佐藤 英彦 腎臓内科医長、東京医科歯科大学臨床教授、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本透析医学会透析専門医・指導医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医、インフェクションコントロールドクター (ICD)

吉嶺 朝陽 腎臓内科医長、日本内科学会認定内科医、日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会腎臓専門医

芋野 充祐 腎臓内科医員

原 美都 腎臓内科医員

穂坂 伸吾 腎臓内科医員

中野クリニック

佐藤 恵子 中野クリニック所長、医学博士、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本透析医学会透析専門医・指導医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医

千田 佳子 医学博士、日本内科学会認定内科医、日本透析医学会透析専門医・指導医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医

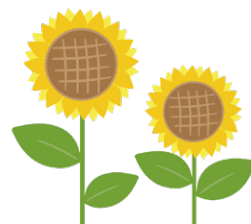
新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来休診のお知らせ

がん哲学外来は、当面の間、**休診**とさせていただきます。

ご不便等をおかけして申し訳ございません。

再開につきましては、誌面とホームページにて

ご案内いたしますので、ご了承ください。



当院ホームページ内【新渡戸稲造記念センター がん哲学外来】に、
樋野 興夫センター長による『言葉の**院外**処方箋』が連載されています。
ぜひご一読ください。

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp>



薬のまめ知識

スポーツ選手とドーピング

薬剤科長 高松 登

オリンピックイヤーの今年、コロナ禍のためテレビ観戦とはいえ、スポーツ選手の活躍を見ると、つい気持ちが高ぶってしまうものです。さて、薬とスポーツとの関わりと言えば、ドーピングが真っ先に思い浮かびます。ドーピングとは「スポーツにおいて禁止されている物質や方法によって競技能力を高め、自分だけが優位に立ち、勝利を得ようとする行為」のことですが、意図的であるかどうかにかかわらず、違反行為とされます。

アンチ・ドーピングとは、ドーピング行為に反対し、スポーツがフェアに行われるための活動のことです。薬剤師にはスポーツファーマシストという資格もあり、アンチ・ドーピング活動を通じてスポーツ選手がうっかりしてドーピングとならないよう、薬が必要な場合でも禁止物質か否かを判別し、安心して競技に臨めるようサポートしています。



組合員の皆様へ

東京医療生活協同組合は、機関紙「新渡戸記念
中野総合病院だより」を通して私どもの活動を皆様
にお知らせして、皆様との交流を図って参りました。
このたび、この活動をさらに発展させ、皆様から
のご意見を積極的にお聞きして、当生協の運営に
役立てることといたしました。

つきましては、当組合に対するご意見、ご要望を
郵便、メール、またはFAXにてお送りくださいます
ようお願いいたします。なお、ご意見をお送りいた
だきます際には、ご氏名に加えて必ず組合員番号
(組合員証に第〇〇〇〇〇号と記載されています)
をご記入いただきますようお願いいたします。



宛先

東京医療生活協同組合 渉外・広報課

住所 〒164-0011 中野区中央4丁目59番16号

メール syougai@nakanosogo.or.jp

FAX 03-3381-4799

8月の小児救急体制



8月1日から31日までの、準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。なお、事情により休診になる
場合や、医師の変更もあり得ますのでご了承ください。ご不明な点は、下記夜間受付にお問い合わせ願います。

***血液検査、点滴等の処置、入院等を必要とする場合は他病院を紹介します。**

受付時間 毎日午後6時30分～午後9時45分

診療時間 毎日午後7時～午後10時

夜間受付 ☎03-3382-9991

8月準夜間小児初期救急担当医

日	月	火	水	木	金	土
1 蘇 哲民	2 小須賀 基通	3 渡辺 仁	4 久利 由美	5 縣 一志	6 清水 泰岳	7 菅波 佑介
8 蘇 哲民	9 亀井 宏一	10 山岸 千尋	11 小池 卓也	12 縣 一志	13 清水 泰岳	14 菅波 佑介
15 清水 泰岳	16 小須賀 基通	17 金 慶彰	18 栗津 緑	19 縣 一志	20 清水 泰岳	21 菅波 佑介
22 縣 一志	23 小須賀 基通	24 高梨 栄	25 小池 卓也	26 菅波 佑介	27 清水 泰岳	28 菅波 佑介
29 蘇 哲民	30 小須賀 基通	31 細谷 直人				

生協組合へのご加入のお願い

新渡戸記念中野総合病院の母体である東京医療生活協同組合は、「消費生活協同組合」の法人です。この生活協同組合は、組合員の皆様からの出資金が経営の基盤になっています。東京都内にご住所がある方、あるいは東京都内の企業に勤務されている方であれば、どなたでも組合への加入の資格があります。

組合員にご加入いただけますと、入院されて個室に入られた場合、室料差額が1日あたり500円引きになります。また、健康管理科にて日帰り人間ドックを受けられる場合は、3,000円引きになるといった特典があります。

組合に加入するには、出資申込書に出資金（**1口200円、5口1,000円より**）を添えてお申し込みください。

なお、すでに組合員になられている方は、随時増資が可能ですので、4番窓口までお申し付けください。

また、組合員の方でご住所等にご変更のある場合は、担当係までご連絡くださいますようお願いいたします。

担当 新渡戸記念中野総合病院 渉外・広報課
☎03-3382-1231(代)

新渡戸の言葉

東京五輪^{デルト}2020が1年遅れで令和3年7月23日開幕しました。新型コロナウイルス（インド型）の急拡大により多くの会場は無観客となり、海外の方のおもてなしも少ない開催となりましたが、新渡戸博士の豊富な海外経験に基づく外国の方々との付き合いの心得がここに簡潔に記されています。

如何に人種や邦語^{こくご}が違ふとも人は人、人情に^{かわ}變りはない友情は同じと、「うつすとも月は思はずうつとも水は思はぬ廣澤の池」、共に色氣なければこそ互にうつしうつされ月水の交を結ぶのだらう。

令和2年4月14日新型コロナ診療を開始し、診療科の垣根を外して編成されたコロナ班は今年既に100名以上を治療しましたが、令和3年7月第5波に到る1年3カ月間、当院で院内クラスターは1度も発生しませんでした。全職員と患者さんのご協力と共に感染管理室、多職種で構成される感染制御チーム（ICT）、そして週1回ICTと院内ラウンドしてくださっている東京医科大学感染症科中村^{いたす} 造准教授の献身的なご支援の賜と心より感謝しています。

一方、収束の気配すらないCOVID-19との闘いは、南アルプス3000m峰9座の全山縦走に例えれば、黒戸尾根より入り、北部の（甲斐駒・）仙丈〜北岳・間ノ岳・農鳥（白峰三山）を巡り、5座目の塩見岳を越えて漸く中間地点の三伏峠に着いた頃でしょうか。これからいよいよ南アルプス南部の核心部、悪沢・中岳（荒川三山）、赤石、聖岳^{ひじり}の本格的な登りが待っています。南ア・南部は一つ一つがGiantで登りごたえのある山なみです。遥かな道を足運びに気を配りながら、オール新渡戸で皆と歩んで参ります。

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄



『歸雁の蘆』
（一二）内外人の交際―要は誠

新渡戸 稻造

僕の觀察した所では矢張り地味で眞面目なのが永年通用が効く。：如何に言語風俗が異なると雖も誠は萬國共通の代物だ。之さへ有れば何な遠い邦にも渡られる。